

## 様式 2

### 平成24年度第3回文化財保護審議会 会議概要

1 審議会名 平成24年度第3回文化財保護審議会（文化財調査委員会と合同で開催）
2 日 時 平成25年3月21日（木） 午前1時30分から午後3時30分まで
3 会 場 豊科郷土博物館 学習室
4 出席者 文化財保護審議会 百瀬（宗）会長、石田委員、飯沼委員、梅干野委員、百瀬（新）委員、文化財調査委員会 西牧会長、下田委員、鈴木委員、橋爪委員、中田委員、降旗委員、山口委員、山越委員
5 市側出席者 文化課長 三澤良彦、文化財保護係 係長 山下泰永、文化財保護係 逸見大悟、土屋和章
6 公開・非公開の別 公開
7 傍聴人0人 記者0人
8 会議概要作成年月日 平成25年3月29日

協 議 事 項 等
1. 会議の概要 開会、あいさつ 審議事項 (1) 第2回文化財保護審議会議事録について (2) 文化財保護審議会及び文化財調査委員会のこれまでの取り組みについて (3) 意見抽出と課題の抽出 (4) 今後の方向性について その他 閉会
2. 審議事項 (1) ～ (2) ■今回が初の文化財保護審議会・文化財調査委員会合同会議であるため現在までの経過説明。（事務局） (3) ～ (4) ■安曇野市指定文化財パトロール実施の提案をさせていただきたい。国・県の指定文化財等は長野県教育委員会が主体となって文化財パトロールを実施している。市指定文化財も定期的にパトロールすることで文化財の現状把握や所有者の意見を知ることができる。（事務局） →パトロールはよいことだと思うが、件数が多いのでどこから手をつけるか。地区ごとに調査委員がいるが、地域間の指定件数がアンバランスであるのでその辺も考える必要がある。（調査委員） →継続可能な件数をパトロールする形で進めたい。また、地域間のバランスは存在するが、市として旧町村単位の指定文化財にこだわらず、全域を全調査委員でパトロールするのが望ましい。（事務局） →市教委職員は同行するか？調査委員単独で実施するか？（調査委員） →調査委員が単独で実施できるよう計画していく。（事務局） →一番早く調査が必要なのは建造物ではないか。講習会をしてからはじめたほうが、共通認識ができると思う。（調査委員） →講習等の機会を設けることを考える。（事務局） →市指定文化財のパトロールは実施する方向で決定。（一同） ■安曇野市指定文化財のパトロール実施について、審議委員から専門的なご意見をいただきたい。（事務局） →建造物について、種類によって被害の程度・原因の判断が難しい。その場での判断は所有者を心配させてしまう。その場で判断せずに、まずは写真等で記録することをしてほしい。屋根が一番困ると思うが、写真は外側からと内側（小屋裏）からの両方から撮影するのが望ましい。水が入ってしまうと、あっという間に建造物がダメになってしまうが、その判断は内側でないと難しい。（審議委員）

- 調査委員によって目の付け所がバラバラなので、そこを統一することをやっていただいて調査することはできないか。(調査委員)
- 機会を設けたい。(事務局)
- 博物館・資料館について、各地の館で収集してきた展示物をどうするか。資料館の統廃合で資料を集約する中で具体的な展開を考えられないか。(審議委員)
- 現在の資料をもう一度見直すことが大事である。(審議委員)
- 閉鎖した資料館にあった資料はどうなっているか。(審議委員)
- 旧明科、上川手収蔵庫の資料を文化財資料センターに収蔵して、既にほぼいっぱいになっている。今後、旧三郷、旧堀金の資料を搬入しなければならないが、その前に現在センターにある資料を整理する必要がある。(事務局)
- 旧堀金には農機具がたくさんある。地元の人が発明した農機具もあるので、その辺をよく調べてほしい。(調査委員)
- ただ集めて収蔵するだけでなく、学びの材料となるようにしてほしい。(審議委員)
- 今までのように文化財調査委員会が指定文化財候補の調査をして文化財保護審議会に推薦していくということは続けるか。(審議委員)
- 市指定の文化財パトロールを実施するなかで、既指定文化財の保護を主体的に行い、これが軌道に乗ったところで指定候補リストについての検討を再開したい。(事務局)
- 博物館等の資料についていうと、例えば民具を実際に使った経験のある方々に聞き取りなどをしないと、その経験が失われてしまう可能性がある。現在指定されているものを後世に伝えることを考えないといけないときであると思う。(審議委員)
- 継続して検討している道祖神の指定について、審議委員からの資料提示(審議委員)
- いくつか候補案件として挙げたのでご検討いただきたい。(審議委員)